

あんどろ消化器内科 IBDクリニック (兵庫県明石市)

2020年10月に開業

当院は「お腹のクリニック」として開業し、丸3年が経ちました。コロナ禍の開業でしたが、その影響はあまりなく、当初から多くの方にご来院いただき、地域に必要とされる存在であることを実感する日々です。

「お腹の症状」は多岐に渡りますが、当院の患者さんで特に目立つのは過敏性腸症候群（IBS）です。中学生から50代まで幅広い年齢の方が治療を受けています。例えば、これまでこの病院を受診しても「胃腸炎」と言われてきた方がIBSと診断されるケースも少なくありません。また、ご自身でIBSを疑い来院し、検査の結果「炎症性腸疾患（IBD）」と診断されることもあります。いわゆる「隠れIBD」のような方が多いのかもしれない。いずれにせよ、やはり適切な検査や正確な診断が重要であることがうかがえます。

～明石にある「お腹のお医者さん」～

院長の安藤純哉先生にお話をうかがいました(編集部)



JR神戸線「西明石駅」下車、神姫バス「鳥羽」バス停下車すぐ

りますが、まずは基本治療をしっかり行うことが大切からです。とはいえ、ある程度の限界も考慮しなければなりません。そのために、専門家として「見極める力」を磨いていきたいと思っています。

より快適なIBDライフを 目指して

当院は患者さんの「ナビゲーター」的な存在であることを意識しています。みなさんが、より快適なIBDライフを過ごすためのコーディネート、あるいはお手伝いと

表現するほうがわかりやすいでしょうか。具体的には、必要に応じて専門施設での検査をお勧めしたり（クリニックでは設備に限りがあるため）、学業や仕事に差し障りのない治療を患者さんと一緒に計画したりします。また、日常生活において何か不安や迷いがある場合には、しっかりと支えるような存在でありたいですね。「寄り添う」というよりも、後ろからちよつと背中を支えて、時には押す、そんなイメージかもしれません。みなさんには、日常生活を支援なく送ってほしいと心から願っています。

昨年、初めて院内患者会のイベントを開



13年前の記事
(54号/2010年10月26日発行)



院長の安藤純哉先生

あんどろ消化器内科 IBDクリニック

〒673-0002 兵庫県明石市旭が丘21-23
クリニックステーション西明石1-B
078-926-0331
URL <https://akashi-ibd.com>



気軽に受診できる
「街のIBD屋さん」
現在、当院では380名を超えるIBD患者さん（潰瘍性大腸炎280名以上、クローン病100名弱）に通院していただいています。

IBDの患者数は増加傾向にあります。ここ数年で徐々に変わってきていますが、いまだに一部の専門病院に患者さんが集中してしまっているのが現状です。当院では、専門病院と変わらない治療を、より気軽に受けていただける環境づくりを心がけています。いわば、「街のIBD屋さん」といった感じですね。

基本治療を大切に

私が初めてCCJAPANの取材を受けたのは2010年でした。それから13年が経ち、IBDの治療は新薬がたくさん登場しましたね。もちろん、その恩恵で以前では対応が難しかった難治例や手術に至る症例が減少するのは素晴らしいことです。ただ一方で、私は安易に強い薬剤を導入することに警戒感を持っています。病態にもよ

催しました。いわゆる情報交換会が主ですが、普段はなかなか同病の患者さん同士で対話をする機会が少ないと思うので、今後このような催しを継続していきたいと思っています。これからも、みなさんがより快適に生活できるようスタッフ一同サポートしていきますので、何か困ったことがあればお気軽にご相談下さい。